

# 芦安小中学校 学校関係者評価書（前期）

令和2年8月28日（金）

学校関係者評価委員会作成

## 第1回芦安地区学校関係者評価委員会

実施日：令和2年8月28日（金） 午後7：00～8：00

会場：南アルプス市立芦安中学校 多目的ホール

参加者：学校関係者評価委員

- 委員長 倉園 哲也（芦安小中学校PTA会長，学校評議員）
- 副委員長 疋田 真祐（芦安小中学校PTA副会長，学校評議員）
- 委員 清水 准一（芦安ファンクラブ会長，学校評議員）
- 委員 清水 実（芦安子を守る会会長，学校評議員）
- 委員 有野 敏也（南アルプス市交通安全協会副会長，学校評議員）
- 委員 伊東 隆雅（芦安地区保護司，学校評議員）
- 委員 倉園 光代（主任児童委員，学校評議員）
- 委員 森本 浩人（芦安窓口サービスセンター長，学校評議員）
- 委員 森本 章雄（芦安地区学校応援団代表，学校評議員）
- 学校職員 <小学校> 校長・石田史明，教頭・石川和樹
- <中学校> 校長・丹澤 博，教頭・今村洋仁

### 1. 学校側からの提案された内容

- ① 学校経営方針，ランドデザインについて
- ② 学校評価の方法について
- ③ 評価の全体的な傾向について
- ④ 教職員自己評価（前期）の結果について
- ⑤ 保護者アンケート（前期）の結果について
- ⑥ 児童生徒アンケート（前期）の結果について
- ⑦ 今後の学校経営・運営について

### 2. 協議された主な内容

- ① 教職員自己評価（前期）の結果について
- ② 保護者アンケート（前期）の結果について
- ③ 児童生徒アンケート（前期）の結果について
- ④ 各項目の評価・達成状況・改善策について
- ⑤ 児童生徒の様子・小中一貫校の取組について
- ⑥ 今後の芦安地区の教育のあり方について

### 3. 協議されたこと（質疑応答）

#### <小中>

- 「困ったときに相談できる友達がありますか」という設問に対して、具体的にどんなことに困っていて相談したいんですか。  
→困っている内容は、友達のこと、勉強のこと、学校生活のこと、家庭でのこと等様々でその都度相談する相手がかわってくることもあります。学校では、その一つ一つをできる限り多く把握し、適時適切に相談にのったり、相談できる環境づくりをしていきたいと考えています。
- 小中一貫校になってどのようなことが変わってきたと思いますか。  
→小学生からしてみると中学生と交流することでいろいろなことを教えてもらえたり、中学生になるとこういうことをするんだという見通しが持てたりして、中学生になるときの不安が少なくなるということがあると思います。
- 長い臨時休業がありました。学校で何とか工夫して挽回して欲していただきたい。  
→臨時休業中は生徒と学校が双方向でやり取りができるように映像を取り入れるなど課題を工夫したりコメントのやり取りをしたりしました。学校再開後は3密を避け授業時数を確保するために、行事の精選と授業のコマの増加によって対応しています。
- 保護者や地域との連携のために、さらに情報共有ができるようにしていただきたい。  
→現在、保護者・地域との連携に向けて、学校だより・学年（学級）だより・ホームページ等で情報発信をし、情報共有ができるように取り組んでいます。
- 道路の拡幅工事でトラックがたくさん通るので、通学路の安全指導をよろしくお願いします。  
→通学路の安全点検や安全指導は定期的に行っていますので、交通安全指導も併せて行っていきたいと思います。
- 来年度の新入学児童と生徒の人数はどれくらいですか。  
→現時点の人数は、小学校が3名、中学校が6名ですが、ここからさらに出入りがあるので、確定した人数は分かりません。
- 地元の子ともと地区外の子ともが仲良くやって欲しいです。  
→学校でも子どもたちの人間関係に目を配り、微妙な変化を見落とすことのないように、より一層コミュニケーションを大切にしながら取り組んでまいります。
- コロナ禍ですが、子どもたちの見守り活動はどうしたらいいですか。  
→屋外のことですので、これまで通り継続して見守りのご協力をよろしくお願いします。

### 4. 学校への意見・要望

- 学校再開後からずっと新型コロナウイルス感染防止対策で活動が制限される中、授業や諸活動に頑張っており取り組んでいます。今後も授業や諸活動に工夫・改善しながら取り組み、活動の幅を広げて児童・生徒が楽しい学校生活が送れようにご指導よろしくお願いします。
- 小中学校が保護者・地域・関係団体と情報共有をしっかりと行い、地域とともにある学校として「芦安郷育」を実践していただきたいと思います。

- ・小中一貫校の取組や自然体験等が子どもたちにもたらす効果を生かして、今後も特色ある学校づくりを推進していただきたい。

## 5. 分析・評価

- ・学校評価から得られた結果を真摯に受け止め、1つ1つの項目について児童・生徒の実態を踏まえて具体的な手立てを講じながら学校運営の工夫・改善を行うとともに、学校教育目標の実現に向けて「芦安郷育」及び「小中一貫教育」をさらに推し進めていきたい。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校行事やPTA活動・小中連携や地域との連携活動に制限ができてしまうが、今後、取組を工夫しながら活動の幅を広げていきたい。
- ・「自主学習」の取組や家庭での「読書」に課題があるため、家庭での自主的な学習や読書のあり方について家庭と連携しながら取り組み、「主体的な学び」を目指していきたい。
- ・子どもたちの人間関係づくりに不安を抱いている児童・生徒・保護者が一部いることを踏まえ、日々の微妙な変化の見取りを大切にしながら、よりきめ細かい対応をしていきたい。